

2017年度i-Construction大賞受賞案件

	受賞者	工事名	担当地整
大臣賞	砂子組(北海道)	道央圏連絡道路 千歳市 泉郷改良工事	北海道
	カナツ技建工業(島根県)	多伎朝山道路小田地区改良第12工事	中国
優秀賞	小山建設(岩手県)	北上川上流曲田地区築堤盛土工事	東北
	金杉建設(埼玉県)	H27荒川西区川越線下流下築堤工事	関東
	会津土建(福島県)	宮古弱小堤防対策工事	北陸
	新井組(岐阜県)	平成27年中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事	中部
	中林建設(大阪府)	第二阪和国道大谷地区道路整備工事	近畿
	五洋建設(東京都)・井森工業(山口県)JV	徳山下松港新南陽地区航路(-12m)浚渫工事	中国
	福井組(徳島県)	H27-28 川島漏水対策工事	四国
	若築建設(東京都)・あおみ建設(東京都)JV	須崎港湾口地区防波堤築造工事	四国
	野添土木(鹿児島県)	長谷川4号床固工・右岸導流堤工事	九州
丸政工務店(沖縄県)	平成28年度恩納南BP1工区改良(その13)工事	沖縄	

国土交通省

国土交通省は11日、直轄工事で建設現場の生産性を向上させた受注者に対する「i-Construct

ion大賞」を初めて受賞

i-Construct 初の受賞者発表

大臣賞は砂子組、カナツ技建

した12者を発表した。国土交通大臣賞は、北海道開発局、中国地方整備局が発注したICT土工を受注した砂子組(北海道)、カナツ技建工業(島根県)の2社が受賞した。同省は201

8年度以降、地方自治体発注工事や民間独自の生産性向上の取り組みに表彰対象を拡大する方針だ。年明けに表彰式を開く。

2016年度中に完成した直轄工事のうち、ICT

は港湾工事2件の受注者も含まれている。

北海道開発局の「道央圏連絡道路 千歳市 泉郷改良工事」を受注した砂子組は、本社内に専門部署として設置した「ICT施工推

進室」で3次元データのチェックや修正などを行い、現場の技術者をバックアップした。ICT土工を採用した全国第1号の工事として、見学会や取材に対応し、i-Constructの普及にも貢献

した。カナツ技建工業は、中国地整の「多伎朝山道路小田地区改良第12工事」で受賞。3次元設計・施工データの作成を自社で主体的に実施するとともに、機械土工、測量機器、ソフトウェアなどで編成するプロジェクトチームを編成し、地元業

界の技術向上に貢献した。国土交通省は18年度以降、毎年度1回のペースでi-Construct大賞を選ぶ。同省の調べによると、都道府県・政令市48団体がICT土工を実施しており、自治体発注工事も受賞対象に加える。また、建設現場の生産性を高める新技術の開発など、民間企業独自の取り組みも表彰対象とする考えだ。

施工を受注した12者(10社・2JV)を選んだ。各地整が推薦したICT施工の受注者を先進性・自立性・波及性の観点で審査し、大臣賞2者、優秀賞10者をそれぞれ選定した。優秀賞に

現場の技術者をバックアップした。ICT土工を採用した全国第1号の工事として、見学会や取材に対応し、i-Constructの普及にも貢献